

根室市議会

丸山衆議「戦争発言」に怒りの抗議！

根室市議会は、5月30日の緊急議会において、丸山穂高衆議院議員の“暴言”に関する決議を挙げます。

本年度第1回目となる「北方四島交流訪問（ビザなし訪問）」に、顧問として参加した丸山議員は、国後島において、元島民である訪問団団長に対して「戦争でこの島を取り返すには賛成ですか」という質問を繰り返しました。「戦争しないかどうか」という発言も音声データに残っています。

丸山議員の発言が明らかになってから、日本共産党市議団は、無所属の久保田陽議員とともに本田俊治議長のもとを訪れ、「返還運動原点の地」の根室市議会として行動を示すべくと求めました。本田議長も同様の考えを持っていました。

丸山議員のこうした発言は、旧ソ連軍の侵攻によつて強制的に島を追われ、想像を絶する過酷な経験をしてきた元島民の方々に對して、あまりにも思慮のない言動と言わざるを得ません。また、現在四島で暮らしているロシア人との交流を進め、両国の友好と信頼の醸成をはかり、領土問題の解決に向けた環境づく

総理大臣をはじめ外務大臣、沖繩及び北方対策担当大臣、衆参の議長、衆参の沖繩及び北方問題に関する特別委員会委員長らに對して地元を怒りを伝える運びとなつています。丸山穂高議員本人にも直接会う予定です。日本共産党市議団からは鈴木一彦議員が参加します。

決議では、丸山議員に對して国会議員としての職を自ら辞すること、国を代表して（ビザなし訪問に）参加する国会議員については、今後、厳正な人選とともに責任ある行動をとるよう国として必要な対策を講じること、今回の問題が日口関係に影響を及ぼすことのないよう政府として必要な対策をとるとともに、一刻も早い領土問題の平和的解決に向けて外交交渉を強力に押し進めること等が盛り込まれます。

丸山穂高氏はただちに国会議員を辞めるべきではないでしょうか。

第25回根室市植樹祭開催

5月26日（日）、「市民の森」において、根室市植樹祭が開催されました。



（作業後の集合写真）

今回の植樹祭では、植樹としてニトリザクラ5苗、エゾヤマザクラ7苗、ヤマハンノキ100苗が新たに植えられました。また、育樹として、すでに植えられているニトリザクラ・エゾヤマザクラの下草刈り及び追肥も行われました。

当日は、最高気温34度と大変暑い日となりました。参加した約150名の市民のみなさんは、そろって「暑い、暑い」と口にしながらも、熱心に植樹・育樹にとりくみました。日本共産党市議団の鈴木一彦議員と橋本竜一議員も参加しました。

根室市植樹祭の趣旨は、「森林は国土及び環境の保全、水資源の涵養、生活環境の改善など極めて重要な機能を備えており、植樹祭を通じて市民一人一本植樹活動に参加し、緑化に対する理解と認識を深めるとともに美しい緑豊かな郷土づくりを推進する」となっており、1994年を第1回として毎年（96年は北海道植樹祭として実施）行われています。

市民の森の植樹は、数年前まではシカによる食害や強風の影響などで樹が根付かない問題がありましたが、ネットを張るなどの改善により効果を上げています。市民の憩いの森の誕生が待ち望まれます。